

新しい学びのデザイン — 多重課題シミュレーション —

ミニトークセッション

徳永基与子（京都光華女子大学）
小笠原秀人（千葉工業大学）

ミニトークセッション

- 形式：2人の対話＋会場から1～2問のショート質疑
- 狙い：理論と現場をつなげる“問い”を再提示
→ ミニワークショップの橋渡し
- 期待されていること
 - 【徳永】 看護教育：経験学習の意義、DX、思考プロセスの可視化
 - 【小笠原】 マネジメント工学：仕掛けづくり、チーム連携の教育化

今、私達はどこにいるのか？

方法：多重課題シミュレーション

GOLDメソッドの6つのシーンが組み込まれた方法

→ すでに実践した実績もあり、
すぐに活用できる状態

道具：教材や支援ツール

Webサイトが開設され、どのような実践までのフローと教材や支援ツールが提供されている

→ 今、すぐにでもアクセスして、
確認してください

準備OK！

多重課題×看護教育 実践支援サイト

実習や現場で「考える力」を育てたいあなたへ
—多重課題シミュレーションから始まる、新しい学びのデザイン—

Bridging education and practice.

Home 実践方法 研究と論文 活用実績 申込み

更新情報・お知らせ

2025/08/10 ホームページを開設しました。

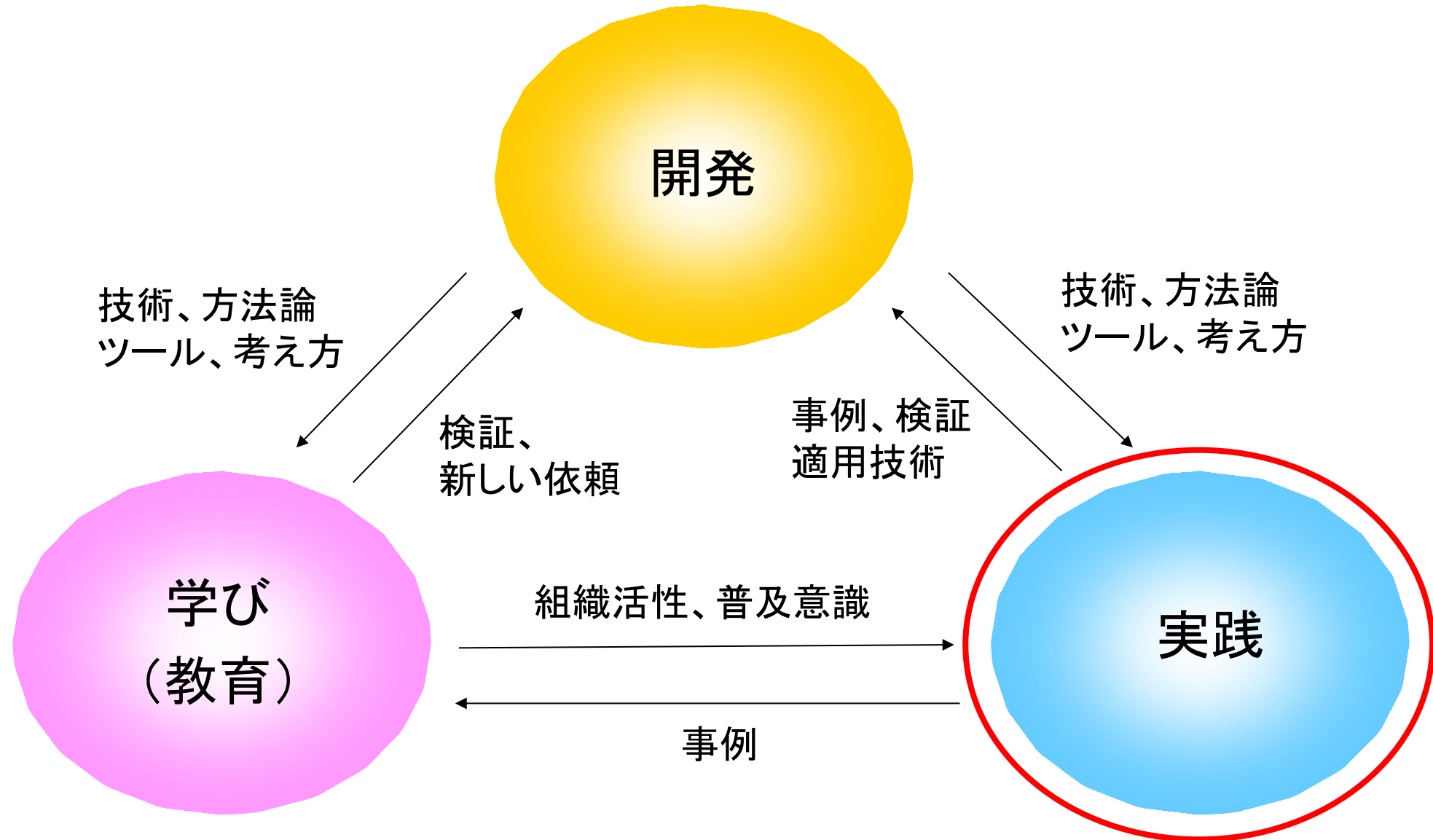
多重課題×看護教育 実践支援サイトのご案内

このホームページでは、看護学生や新人看護師が「考えて動く力」を育むための教材や実践例をご紹介します。



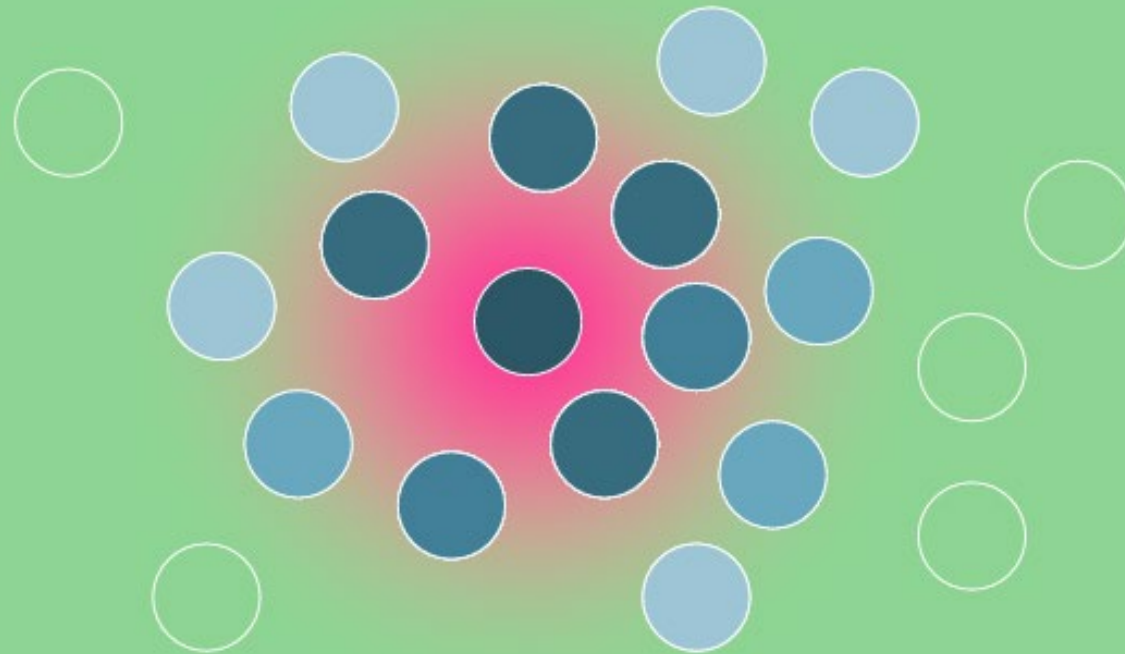
今、必要な事は？

普及・展開のための3つの活動視点

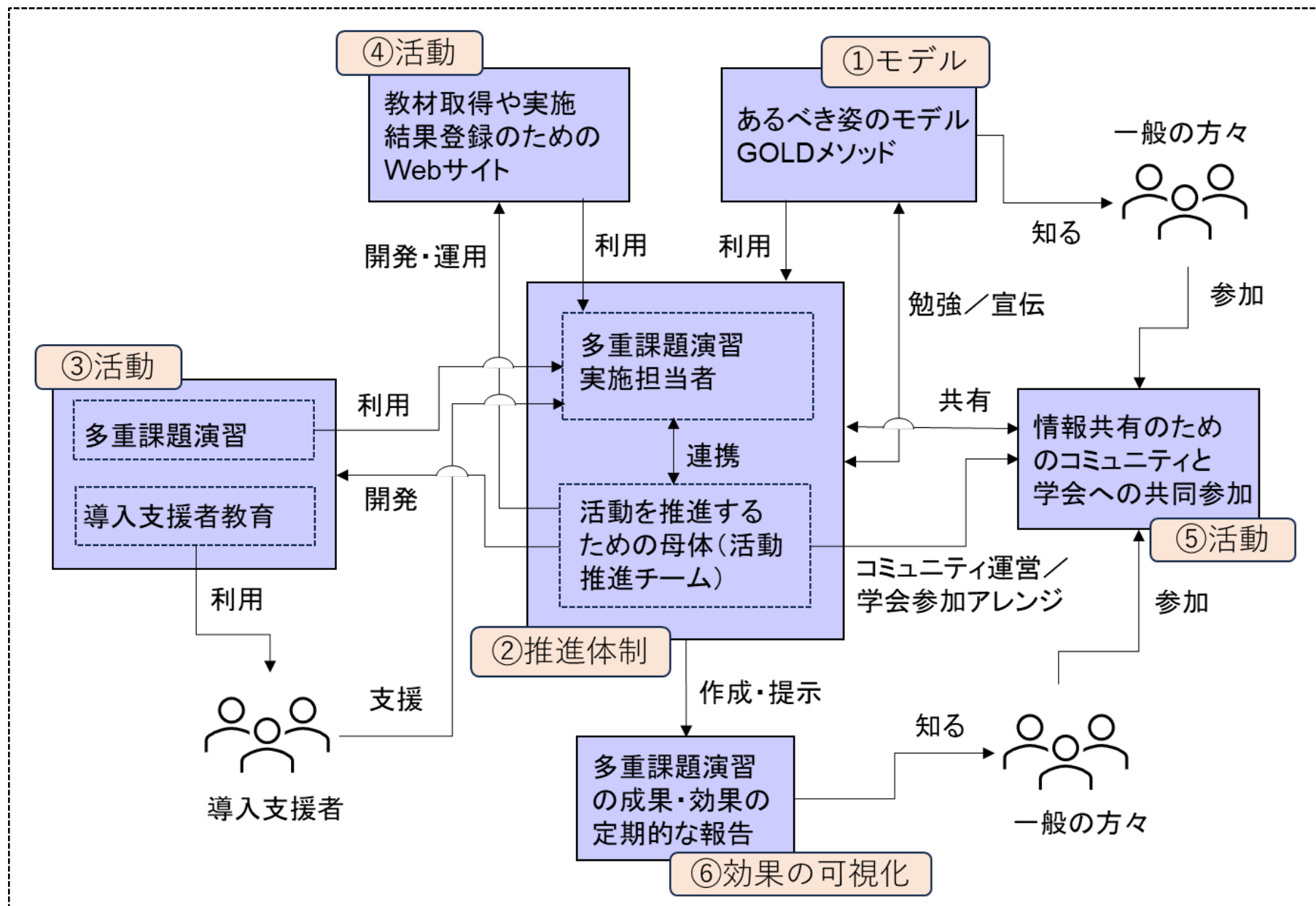


今こそ、
動き出す時！

やる気の伝播の様子



林 好一, プロセス改善には現場のやる気が必要 ⇒ ワークショップによって参加者もスタッフもやる気が向上, SEPG Japan 2024.
<https://www.jaspic.org/event/2004/SepgJapan/proceedings/3A4.pdf>



多重課題シミュレーションの活動を支える仕組み

ミニトーク

- みなさまへのエール
 - 新しい活動（取り組み）に取りかかろう！
- 活動に際しての心構え
- ネットワークを作り、共有することの大切さ
- 目指すべき姿

会場のみなさまから

まとめ

- 準備は整いました！
- 実践結果の共有がより良い教材・支援ツールの開発につながります
- そのためには、このコミュニティ（ネットワーク）を大切にしましょう
- これからも、みなさまの活動を後押しします